再読 417（平成 25 年 1 月 21 日）　　氏名

今回から「社員心得帳」という本からです

会社を信頼する　By　松下幸之助

新入社員、社員として欠くことのできない大切な事は、**会社を信頼する**ということがあると思います。
多少予備知識はもっているとしても、入社したばかりでは会社の様子もまだ十分にわからないでしょうし、仕事も不慣れ、先輩・上司も知らない人ばかりですから、何かと不安を持つことが少なくないと思います。社員としても、経営者の考え方を十二分に理解できません。しかし、基本的には会社を信頼し、そこに一つの安心感をもって仕事に取り組んでいく事が大切だと思うのです。というのは、会社にしても先輩・上司にしても社員の人に悪しかれという考えは少しも持っていません。反対に、非常に期待をもって社員を受け入れ、すべて良かれと思って、いろいろ教えたり、注意をするわけです。
実際、会社というか経営者は、社員の成長をいわば一日千秋の思いで待ち望み、見守っているのです。そして、ただ待ち望み、見守るだけでなく、その人を伸ばしていくことに熱意をもって、真剣な努力をします。せっかく入社した社員の人が、ただなんとなく働いて日を過ごしているということでは、その人人身もつまらないでしょうが、それ以上に会社は、そのことに対して耐えがたい苦痛を感じるものなのです。今日より明日、明日より明後日へと、少しずつでもその人の成長が成長していくということを、その会社でも希望し、そのため努力を惜しみません。もし、そういうことを怠るようであれば、それは会社として責任を果たしていない姿であり、それでは会社自身としての発展もできにくいと思います。
結局それは、会社が世間からそのようなことを要望されているということです。会社は一般大衆から、国家から、または広くは世界から、いろいろな要望なり期待を寄せられており、その要望、期待に応えていくためには、やはり経営者はもちろん社員含めたすべての社員が、一日一日と成長していくことが不可欠の条件であるわけです。
数ある会社、多くの先輩の中には、例外もあるでしょうが、社員の人は、基本的にはそのように社員の成長を願っている会社というものを信頼し、“自分も良き社員として成長し、会社の仕事を通じて社会に奉仕して行こう”という考えを持つことが大切で、それが結局、自分自身のプラスにもなることだと思うのです。

新入社員・社員として欠くことのできない大切な事は何ですか？
（　　）

カッコ内を埋めてください

会社にしても先輩・上司にしても社員の人に（　　）という考えは少しも持っていません。

反対に、非常に期待をもって社員を受け入れ、（　　）と思って、（　　）、

注意をするわけです。

自分自身にプラスになる考え方は何ですか？

（　　）